注３

大学番号：国００１

事前伺い

［平成２９年度設置］

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学校教育法第100条）の設置

注１

北海道大学大学院 医学院 医科学専攻（修士課程）
北海道大学大学院 医学院 医学専攻（博士課程）

注２

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学
平成２９年５月１日現在

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成２９年３月３１日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

北海道大学大学院 医学院

＜医科学専攻（修士課程）＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

＜医学専攻（博士課程）＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８０

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８１

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人　北海道大学

（２）大　学　名

北海道大学

（３）大学の位置

〒０６０－８６３８：　北海道札幌市北区北１５条西７丁目
（〒０６０－０８０８：　北海道札幌市北区北８条西５丁目）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（ナワ　トヨハル） 名和　豊春 （平成29年4月1日）		
学 院 長	（ヨシオカ　ミツヒロ） 吉岡　充弘 （平成29年4月1日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

〈修士課程〉

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　様式は，平成２７年度開設の博士後期課程の場合（平成２９年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備　考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医学院 医科学専攻（修士課程） 修士（医科学） 修士（公衆衛生学）	医学関係	年 2	人 20	人 40	基礎となる学部等 医学部保健学科， 医学部医学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分 ＼ 報告年度	平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	人 20 （　－　） ［　－　］	人	人 （　　） ［　　］	人	1.45 倍	
志願者数	39 （　0　） ［　4　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
受験者数	36 （　0　） ［　4　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
合格者数	33 （　0　） ［　3　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
Ｂ　入学者数	29 （　0　） ［　3　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］	（　　） ［　　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.45					

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	29 [　3　] （－）	[　　] （　）	[　　] （　）	[　　] （　）	
２年次			[　　] （　）	[　　] （　）	
３年次					
計	29 [　3　] （　－　）		[　　] （　　）		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

〈修士課程〉

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成29年度入学者	29 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00　%
合　計	29 人	0 人					0.00　%

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

〈修士課程〉

2　授業科目の概要

＜大学院 医学院 医科学専攻＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通コア科目	基本医学研究概論	1前	1			2 ~~3~~			2 ~~1~~	1 ~~2~~	兼 1	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
共通コア科目	基本実験・研究計画法	1前	1			5 ~~4~~	1				~~兼 1~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
共通コア科目	医倫理学序論	1前	1			7 ~~6~~	1				兼 1	教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
共通コア科目	トランスレーショナルリサーチ概論	1前	1			1						
必修科目Ⅰ（医科学コース）	基本医学研究法Ⅰ	1前	1			2	1		2			
必修科目Ⅰ（医科学コース）	基本医学研究法Ⅱ	1前	1			3 ~~2~~		~~2~~	1			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎疫学	1前	1			1	1		2		兼 1	教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎生物統計学	1前	1				1					
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎社会行動科学	1前	1			1	1					
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎保健医療管理学	1前	1			1			1			教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎環境保健学	1前	1			1			1			
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	基礎医学概論	1後	1			1 ~~10~~			1			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））	臨床医学概論	1後	1			1 ~~7~~			1 ~~2~~		~~兼 3~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））	基礎疫学	1前	1			1	1		2		兼 1	教育課程の充実を図るため，担当教員を追加。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））	基礎生物統計学	1前	1				1					
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））	基礎社会行動科学	1前	1			1	1					
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））	基礎保健医療管理学	1前	1			1			1			教育課程の充実を図るため，担当教員を追加。（29）
必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））	基礎環境保健学	1前	1			1			1			
必修科目Ⅱ（医科学コース）	公開発表演習	1通	1			1	1	~~1~~	3			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅱ（医科学コース）	研究発表技法Ⅰ	1･2通	1			44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅱ（医科学コース）	研究発表技法Ⅱ	1･2通	2			44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
必修科目Ⅱ（医科学コース）	基本医学研究	1～2通	10			44	31	15	63			科目の新設（29）
必修科目Ⅱ（医科学コース）	~~基本医学研究Ⅰ~~	~~1～2通~~	~~4~~			~~52~~	~~28~~	~~19~~	~~62~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本医学研究」へ統合。（29）
必修科目Ⅱ（医科学コース）	~~基本医学研究Ⅱ~~	~~1～2通~~	~~6~~			~~52~~	~~28~~	~~19~~	~~62~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本医学研究」へ統合。（29）

（公衆衛生学コース（2年コース））必修科目Ⅱ	公開発表演習	1通	1			1	1	~~1~~	3			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	研究発表技法Ⅰ	1･2通	1			5	4 ~~5~~		5 ~~7~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	研究発表技法Ⅱ	1･2通	2			5	4 ~~5~~		5 ~~7~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	基本公衆衛生学研究	**1～2通**	**10**			**5**	**4**		**5**			科目の新設（29）
	~~基本公衆衛生学研究Ⅰ~~	~~1～2通~~	~~4~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本公衆衛生学研究」へ統合。（29）
	~~基本公衆衛生学研究Ⅱ~~	~~1～2通~~	~~6~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本公衆衛生学研究」へ統合。（29）
（公衆衛生学コース（1年コース））必修科目Ⅱ	研究発表技法Ⅰ	1通	1			5	4 ~~5~~		5 ~~7~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	研究発表技法Ⅱ	1通	2			5	4 ~~5~~		5 ~~7~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	基本公衆衛生学研究	**1通**	**10**			**5**	**4**		**5**			科目の新設（29）
	~~基本公衆衛生学研究Ⅰ~~	~~1通~~	~~4~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本公衆衛生学研究」へ統合。（29）
	~~基本公衆衛生学研究Ⅱ~~	~~1通~~	~~6~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本公衆衛生学研究」へ統合。（29）
（医科学コース）選択科目	基本医学総論	1･2前･後		2		44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床ゲノミクス概論	1通		2		3 ~~5~~	2 ~~1~~	2			4 ~~兼 2~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床情報工学	2通		1			1				5 ~~兼 4~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床疫学	2通		2		1	1				兼 1	
	臨床シークエンス技法	2通		2		~~1~~		~~1~~			2 ~~兼 1~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床病理･検査医学	1前		1		1	~~2~~	1 ~~2~~			4 ~~兼 2~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	基礎医学概論	1後		1		1 ~~10~~			1			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床医学概論	1後		1		1 ~~7~~			1 ~~2~~		~~兼 3~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
（公衆衛生学コース（2年コース・1年コース共通））選択科目	**応用疫学(公衆衛生総論)** ~~応用疫学(疫学研究方法論)~~	1･2前･後		1		1						講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。（29）
	応用疫学(疫学研究の実際) ~~応用疫学(臨床研究方法論)~~	1･2前･後		1		1	1		2		兼 1	講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
	応用疫学(研究デザイン立案演習)	1･2前･後		1		1	1 ~~2~~		2		兼 1	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	応用疫学(EBM演習)	1･2前･後		1		1	1		2		兼 1	教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
	応用生物統計学(創薬発見科学) ~~応用生物統計学(観察研究の統計解析)~~	1･2前･後		1			~~1~~				兼 1	講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	応用生物統計学(臨床研究統計解析)	1･2前･後		1			1					
	応用生物統計学(生物情報学と計算生物学) ~~応用生物統計学(データ解析演習)~~	1･2前･後		1			~~1~~				兼 1	講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）

（公衆衛生学コース（2年コース・1年コース共通））選択科目	応用社会行動科学(健康行動科学)	未開講 ~~1・2前・後~~		1		1	1					担当教員との調整がつかず，平成30年度開講予定。（29）
	応用社会行動科学(生命倫理学)	1・2前・後		1							兼 1	
	応用社会行動科学(法医学) ~~応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)~~	1・2前・後		1		~~1~~	~~1~~		1			講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	応用社会行動科学(精神保健学)	1・2前・後		1		1	~~2~~					教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	応用社会行動科学(健康増進学)	**1・2前・後**		**1**		**2**						科目の新設（29）
	~~応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)~~	~~1・2前・後~~		~~1~~		~~1~~					~~兼 1~~	科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，応用社会行動科学（健康増進学）へ統合。（29）
	~~応用社会行動科学(健康栄養学)~~	~~1・2前・後~~		~~1~~		~~1~~						科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，応用社会行動科学（健康増進学）へ統合。（29）
	応用社会行動科学(地域保健活動) ~~応用社会行動科学(地域保健学)~~	1・2前・後		1							**3** ~~兼 2~~	講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育課程を充実するために担当教員を追加。（29）
	応用社会行動科学(地域医療学)	1・2前・後		1		1	1					
	応用保健医療管理学(医療政策学)	未開講 ~~1・2前・後~~		1					1			担当教員との調整がつかず，平成30年度開講予定。（29）
	応用保健医療管理学(**人口学**) ~~応用保健医療管理学(医療経済学)~~	1・2前・後		1		**1**			1			講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育課程を充実するために，担当教員を追加。（29）
	応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	**1・2前・後**		**1**							**兼 2**	科目の新設（29）
	~~応用保健医療管理学(医療安全管理学)~~	~~1・2前・後~~		~~1~~							~~兼 1~~	科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）へ統合。（29）
	~~応用保健医療管理学(医療情報学)~~	~~1・2前・後~~		~~1~~							~~兼 1~~	科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）へ統合。（29）
	応用保健医療管理学(医療マネジメント学)	1・2前・後		1							兼 1	
	応用保健医療管理学(レギュラトリー・サイエンス)	1・2前・後		1		1						
	応用環境保健学(**産業保健学**) ~~応用環境保健学(産業保健・環境毒性学)~~	1・2前・後		1		1			1			講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。（29）
	応用環境保健学(感染症疫学)	1・2前・後		1		1			1			
	応用環境保健学(**環境化学物質と人びとの健康**) ~~応用環境保健学(環境健康学)~~	1・2前・後		1							**6** ~~兼 1~~	講義題目と教育内容を一致させるため講義題目を変更。教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
	応用環境保健学(国際保健医学)	1・2前・後		1					**1**		兼 1	教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
	~~応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)~~	~~1・2前・後~~		~~1~~		~~1~~						科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，応用環境保健学（感染症疫学）と統合。（29）
	応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	**1・2前・後**		**1**							**兼 5**	科目の新設（29）
	応用環境保健学(環境適応学総論)	**1・2前・後**		**1**							**兼 5**	科目の新設（29）
	応用環境保健学(環境適応学特論)	**1・2前・後**		**1**							**兼 7**	科目の新設（29）
	応用環境保健学(環境計量学特論)	**1・2前・後**		**1**							**兼 6**	科目の新設（29）

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	34	0	66	29	35	0	64	
				[△3]	[1]	[0]	[△2]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

〈修士課程〉

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	応用社会行動科学(健康行動科学)	1	1･2前･後	専門	選択	担当教員との調整がつかず未開講。 平成30年度に開講する。
2	応用保健医療管理学(医療政策学)	1	1･2前･後	専門	選択	担当教員との調整がつかず未開講。 平成30年度に開講する。

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	基本医学研究Ⅰ	4	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本医学研究（10単位）として開講
2	基本医学研究Ⅱ	6	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本医学研究（10単位）として開講
3	基本公衆衛生学研究Ⅰ	4	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本公衆衛生学研究（10単位）として開講
4	基本公衆衛生学研究Ⅱ	6	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本公衆衛生学研究（10単位）として開講
5	基本公衆衛生学研究Ⅰ	4	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本公衆衛生学研究（10単位）として開講
6	基本公衆衛生学研究Ⅱ	6	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基本公衆衛生学研究（10単位）として開講
7	応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)	1	1･2前･後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため，応用社会行動科学（健康増進学）として開講。修了要件に影響なし。
8	応用社会行動科学(健康栄養学)	1	1･2前･後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため，応用社会行動科学（健康増進学）として開講。修了要件に影響なし。
9	応用保健医療管理学(医療安全管理学)	1	1･2前･後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため，応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学）として開講。修了要件に影響なし。
１０	応用保健医療管理学(医療情報学)	1	1･2前･後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため，応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学）として開講。修了要件に影響なし。
１１	応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)	1	1･2前･後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため，応用環境保健学（感染症疫学）と統合。修了要件に影響なし。

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については，全て効果的かつ効率的な教育を行うために実施したものである。教育内容及び修了要件に影響はない。選択科目の廃止については，全て公衆衛生学コースにかかる内容であり，公衆衛生学コース（２年コース）では５単位，公衆衛生学コース（１年コース）では８単位の修得が修了要件となっているが，27の選択科目が開講されており，影響がないものである。 学生に対しては，シラバスにて周知済みである。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{13}{66} = 19.69\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	校舎敷地	923,867 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	923,867 ㎡	
	運動場用地	175,488 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	175,488 ㎡	
	小計	1,099,355 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	1,099,355 ㎡	
	その他	659,049,323 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	659,049,323 ㎡	
	合計	660,148,678 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	660,148,678 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
		776,494 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	776,494 ㎡	
		（776,494 ㎡）	（0 ㎡）	（0 ㎡）	（776,494 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	６８室	室	室	室 （補助職員　人）	室 （補助職員　人）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	医学部　医学科	１３６　室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	医学院	3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	89,444	0	0	学院単位での特定が不能なため，大学全体の数
		3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	(89,444)	(0)	(0)	
	計	3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	89,444	0	0	
		3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	(89,444)	(0)	(0)	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	33,542 ㎡	2,224 席	425 万冊	同上

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	7,429 ㎡	ﾃﾆｽｺｰﾄ(11)，野球場(3)，ﾌﾟｰﾙ(2)，ﾎｯｹｰ･ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ場(1)，陸上競技場(1)，ｻｯｶｰ･ﾗｸﾞﾋﾞｰ場(1)，ｱﾒﾘｶﾝﾌｯﾄﾎﾞｰﾙ･ﾗｸﾛｽ場(1)，ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ(1)，武道場(1)，剣道場(1)，弓道場(1)，洋弓場(1)，ﾗｲﾌﾙ射撃場(1)，ﾎﾞｰﾄ艇庫(1)，ﾖｯﾄ艇庫(1)，馬場(1)，山小屋(4)	同上

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
経費の見積り	教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	北海道大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
文学部							S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部			③10				S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50		220	学士(教育学)	1.12	S24		
法学部			②/③				S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	10/10	850	学士(法学)	1.04	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)		S28		入学時点で学科未定
経営学科	4	90		360	学士(経営学)		S41		
理学部							S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.00	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.00	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.03	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.02	H6		
医学部							S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720		1.04	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
看護学専攻	4	70		280	学士(看護学)/(保健学)	1.09	H16		
放射線技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.01	H16		
検査技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
理学療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.00	H16		
作業療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
歯学部							S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	1.00	S42		
薬学部						-	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)		H18		入学時点で学科未定かつ両学科で修業年限が異なるため超過率計算不能
薬学科	6	30		180	学士(薬学)		H18		
工学部			③10				S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.06	H17		
情報ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ学科	4	180		720	学士(工学)	1.06	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.14	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.02	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		入学時点で学科未定
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)		H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)		H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)		H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)		S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)		S24		
獣医学部							S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.04	H24		
水産学部						1.00	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		入学時点で学科未定
海洋資源科学科	4	53		212	学士(水産学)		H18		
増殖生命科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		
資源機能化学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		

文学研究科								S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学	M	2	14		28	修士(文学)	0.82	H12		
	D	3	6		18	博士(文学)	0.55	H12		
歴史地域文化学	M	2	28		56	修士(文学)/(学術)	0.71	H12		
	D	3	11		33	博士(文学)/(学術)	0.75	H12		
言語文学	M	2	29		58	修士(文学)	0.93	H12		
	D	3	11		33	博士(文学)	0.87	H12		
人間ｼｽﾃﾑ科学	M	2	19		38	修士(文学)	1.34	H12		
	D	3	7		21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科								S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学	M	2	20		40	修士(法学)	0.90	H12		
	D	3	15		45	博士(法学)	0.37	H12		
法律実務	P	3	50		150	法務博士(専門職)	0.86	H16		
医学研究科								S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学	M	2	－		－	修士(医科学)	－	H14		
医学	D	4	－		－	博士(医学)	－	H19		
情報科学研究科								H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学	M	2	48		96	修士(工学)/(情報科学)	0.93	H26		
	D	3	12		36	博士(工学)/(情報科学)	0.72	H26		
情報ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	M	2	39		78	修士(工学)/(情報科学)	1.11	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	0.79	H16		
生命人間情報科学	M	2	33		66	修士(工学)/(情報科学)	0.82	H16		
	D	3	6		18	博士(工学)/(情報科学)	0.33	H16		
ﾒﾃﾞｨｱﾈｯﾄﾜｰｸ	M	2	30		60	修士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	1.03	H16		
ｼｽﾃﾑ情報科学	M	2	27		54	修士(工学)/(情報科学)	1.27	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
水産科学院								H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学	M	2	43		86	修士(水産科学)	0.99	H17		
	D	3	17		51	博士(水産科学)	0.30	H17		
海洋応用生命科学	M	2	47		94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18		54	博士(水産科学)	0.51	H17		
環境科学院								H17	札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学	M	2	44		88	修士(環境科学)	0.90	H17		
	D	3	15		45	博士(環境科学)	0.57	H17		
地球圏科学	M	2	35		70	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	14		42	博士(環境科学)	0.49	H17		
生物圏科学	M	2	52		104	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	23		69	博士(環境科学)	0.57	H17		
環境物質科学	M	2	28		56	修士(環境科学)	0.99	H17		
	D	3	11		33	博士(環境科学)	0.60	H17		
理学院								H18	札幌市北区北10条西8丁目	
数学	M	2	46		92	修士(理学)	0.84	H18		
	D	3	17		51	博士(理学)	0.44	H18		
物性物理学	M	2	24		48	修士(理学)	0.95	H18		
	D	3	10		30	博士(理学)	0.70	H18		
宇宙理学	M	2	20		40	修士(理学)	0.82	H18		
	D	3	9		27	博士(理学)	0.92	H18		
自然史科学	M	2	39		78	修士(理学)	1.26	H18		
	D	3	20		60	博士(理学)	0.93	H18		

農学院								H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学	M	2	40		80	修士(農学)	0.71	H18		
	D	3	8		24	博士(農学)	1.04	H18		
生物資源科学	M	2	42		84	修士(農学)	1.18	H18		
	D	3	14		42	博士(農学)	0.57	H18		
応用生物科学	M	2	18		36	修士(農学)	1.99	H18		
	D	3	6		18	博士(農学)	0.77	H18		
環境資源学	M	2	42		84	修士(農学)	1.17	H18		
	D	3	14		42	博士(農学)	0.78	H18		
生命科学院								H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学	M	2	132		264	修士(生命科学)/(薬科学)	0.93	H18		
	D	3	46		138	博士(生命科学)/(薬科学)	0.79	H18		
臨床薬学	D	4	4		16	博士(臨床薬学)	1.56	H24		
教育学院								H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学	M	2	45		90	修士(教育学)	0.96	H19		
	D	3	21		63	博士(教育学)	0.67	H19		
国際広報ﾒﾃﾞｨｱ･観光学院								H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報ﾒﾃﾞｨｱ	M	2	27		54	修士(国際広報ﾒﾃﾞｨｱ)/(学術)	1.05	H19		
	D	3	14		42	博士(国際広報ﾒﾃﾞｨｱ)/(学術)	0.54	H19		
観光創造	M	2	15		30	修士(観光学)	1.03	H19		
	D	3	3		9	博士(観光学)	1.33	H19		
保健科学院								H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学	M	2	40		80	修士(保健科学)/(看護学)	1.50	H20		
	D	3	10		30	博士(保健科学)/(看護学)	1.09	H22		
工学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学	M	2	33		66	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	9		27	博士(工学)	0.55	H22		
材料科学	M	2	39		78	修士(工学)	1.01	H22		
	D	3	7		21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学	M	2	27		54	修士(工学)	1.16	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ	M	2	26		52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.60	H22		
ｴﾈﾙｷﾞｰ環境ｼｽﾃﾑ	M	2	26		52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.66	H22		
量子理工学	M	2	20		40	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.53	H22		
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞ工学	M	2	24		48	修士(工学)	1.14	H22		
	D	3	6		18	博士(工学)	0.77	H22		
北方圏環境政策工学	M	2	26		52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	7		21	博士(工学)	0.61	H22		
建設都市空間ﾃﾞｻﾞｲﾝ	M	2	22		44	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能ｼｽﾃﾑ	M	2	27		54	修士(工学)	0.94	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.46	H22		
環境創生工学	M	2	28		56	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.33	H22		
環境循環ｼｽﾃﾑ	M	2	18		36	修士(工学)	1.29	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	1.53	H22		
共同資源工学	M	2	10		20	修士(工学)	1.30	H29		平成29年4月設置
総合化学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学	M	2	129		258	修士(総合化学)	1.13	H22		
	D	3	38		114	博士(理学)/(工学)/(総合化学)	1.10	H22		
経済学院								S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営	M	2	35		70	修士(経済学)/(経営学)	1.10	H12		
	D	3	8		24	博士(経済学)/(経営学)	0.65	H12		
会計情報	P	2	20		40	会計修士(専門職)	0.87	H17		

医学院								H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医科学	M	2	20		40	修士(医科学)/(公衆衛生学)	1.45	H29		
医学	D	4	90		360	博士(医学)	0.93	H29		
歯学院								S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学	D	4	40		160	博士(歯学)	0.72	H12		
獣医学院								S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学	D	4	16		64	博士(獣医学)	1.05	H7		
医理工学院								H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医理工学	M	2	12		24	修士(医理工学)	1.25	H29		
	D	3	5		15	博士(医理工学)	1.20	H29		
国際感染症学院								H29	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月設置
感染症学	D	4	12		48	博士(感染症学)/(獣医学)	0.91	H29		
国際食資源学院								H29	札幌市北区北9条西9丁目	平成29年4月設置
国際食資源学	M	2	15		30	修士(食資源学)	1.13	H29		
公共政策学教育部								H17	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学	P	2	30		60	公共政策学修士(専門職)	1.14	H17		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜大学院医学院 医科学専攻（修士課程）＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					備考欄の注記は以下のとおりである。 ※１ 効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本医学研究Ⅰ（４単位）」及び「基本医学研究Ⅱ（６単位）」を「基本医学研究（10単位）」に統合(29) ※２ 効果的かつ効率的な教育を行うため，「基本公衆衛生学研究Ⅰ（４単位）」及び「基本公衆衛生学研究Ⅱ（６単位）」を「基本公衆衛生学研究（10単位）」に統合(29)					
専	教授	有川 二郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	有川 二郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究概論					基本医学研究概論	
				医倫理学序論					医倫理学序論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				臨床ゲノミクス概論					臨床ゲノミクス概論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	渥美 達也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	渥美 達也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				応用社会行動科学（健康栄養学）					応用社会行動科学（健康増進学）	平成29年１月 教育内容の充実を図るため，用社会行動科学(健康スポーツ･体力科学)」及び「応用社会行動科学(健康栄養学)」を統合し，講義題目変更(29)
				臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	有賀 正	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	有賀 正	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				医倫理学序論					医倫理学序論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	石田 晋	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	石田 晋	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				応用社会行動科学（健康スポーツ・体力科学）					応用社会行動科学（健康増進学）	平成29年１月 教育内容の充実を図るため，応用社会行動科学（健康スポーツ･体力科学）」及び「応用社会行動科学（健康栄養学）」を統合し，講義題目変更（29）
専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅰ					基本医学研究法Ⅰ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学研究概論	専 専	教授 教授	有川 二郎 渡邊 雅彦	平成29年4月	基本医学研究概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更（29）
専	教授	大滝 純司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	大滝純司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
				基礎社会行動科学					基礎社会行動科学	
				基礎医学概論					基礎医学概論	
				臨床医学概論					臨床医学概論	
				応用社会行動科学（健康行動科学）					応用社会行動科学（健康行動科学）	
				応用社会行動科学（地域医療学）					応用社会行動科学（地域医療学）	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				応用社会行動科学（医療コミュニケーション学）	専	助教	的場光太郎	平成29年4月	応用社会行動科学（法医学）	平成29年１月 教育体制の見直しにより，講義題目及び科目担当教員の変更（29）
専	教授	大場 雄介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	大場 雄介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅱ					基本医学研究法Ⅱ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床シークエンス技法	兼担 兼担	助教 助教	林 秀幸 天野 虎次	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更（29）
専	教授	笠原 正典	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	笠原 正典	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更（29）
専	教授	神谷 温之	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	神谷 温之	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更（29）
専	教授	丸藤 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	丸藤 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	教授	久住 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				応用社会行動科学(精神保健学)					応用社会行動科学(精神保健学)	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				医倫理学序論					医倫理学序論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床ゲノミクス概論	専 専 専 兼担 兼担 兼担	准教授 准教授 講師 教授 助教 助教	近藤 健 七戸 俊明 津田 真寿美 清水 伸一 林 秀幸 王 磊	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	篠原 信雄	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	篠原 信雄	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	清水 宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	清水 宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	武冨 紹信	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	武冨 紹信	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				医倫理学序論					医倫理学序論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
				臨床ゲノミクス概論					臨床ゲノミクス概論	
				臨床病理・検査医学					臨床病理・検査医学	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	田中 真樹	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	田中 真樹	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅱ					基本医学研究法Ⅱ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						

専	教授	玉木 長良	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論 臨床医学概論			後任未定			平成29年3月 玉木教授退職(29) 「後任未定」 公募時期未定 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 医倫理学序論 基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(ＥＢＭ演習)	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 医倫理学序論 基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(ＥＢＭ演習)	
				基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※１
				―					基本実験・研究計画法	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
				基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ					基本公衆衛生学研究	※２
				応用疫学 (疫学研究方法論)					応用疫学 (公衆衛生総論)	平成29年1月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用疫学(疫学研究方法論)」から講義題目を変更(29))
				応用疫学 (臨床研究方法論)					応用疫学 (疫学研究の実際)	平成29年1月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用疫学(臨床研究方法論)」から講義題目を変更(29))
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成28年7月 筒井教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない
専	教授	豊嶋 崇徳	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	教授	豊嶋 崇徳	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論	
									基本医学研究	※１
				―					医倫理学序論	平成29年１月 教育効果を高めるため分野持ち回りの科目としており，科目担当教員として追加(29)
専	教授	西浦 博	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基礎環境保健学 応用環境保健学 (感染症疫学) 応用環境保健学 (国際感染症学・ 人獣共通感染症学)	専	教授	西浦 博	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基礎環境保健学	
									応用環境保健学(感染症疫学)	平成29年１月 教育内容の充実を図るため，「応用環境保健学（感染症疫学）」に「応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）」を統合(29)
				基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ					基本医学研究	※１
				―					基礎保健医療管理学	平成29年１月 「基礎保健医療科学」から科目名変更し，担当者の追加(29)
				基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ					基本公衆衛生学研究	※２
				―					応用保健医療管理学(人口学)	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用保健医療管理学(医療経済学)」から科目名を変更し，担当者を追加(29)
				応用環境保健学(産業保健・環境毒性学)					応用環境保健学(産業保健学)	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用環境保健学(産業保健･環境毒性学)」から講義題目名変更(29)

専	教授	西村 正治	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	西村 正治	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	畠山 鎮次	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	畠山 鎮次	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅰ					基本医学研究法Ⅰ	
				臨床ゲノミクス概論					臨床ゲノミクス概論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	平野 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	平野 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	森本 裕二	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	森本 裕二	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	山本 有平	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	山本 有平	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				－					基本医学研究法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究概論					基本医学研究概論	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	福田 諭	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ			後任未定			平成29年3月福田教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅱ						
				基本医学研究Ⅰ						
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学総論						

専	教授	安田 和則	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成29年3月安田教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	櫻木 範明	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成29年3月櫻木教授、水上教授退職(29) 「後任未定」 両教授が担当していた2教室を1教室に再編することに伴い，専任教員１名を公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	水上 尚典	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成29年3月水上教授、櫻木教授退職(29) 「後任未定」 両教授が担当していた2教室を1教室に再編することに伴い，専任教員１名を公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	瀬谷 司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成28年3月瀬谷教授退職(29) 「後任者就任時期未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	三輪 聡一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論 基礎医学概論			後任未定			平成28年9月三輪教授退職(29) 「後任未定」 公募時期未定。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	寶金 清博	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	教授	寶金 清博	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	教授	山下 啓子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	教授	山下 啓子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
				臨床ゲノミクス概論	専 専 専 兼担 兼担 兼担	准教授 准教授 講師 教授 助教 助教	近藤 健 七戸 俊明 津田 真寿美 清水 伸一 林 秀幸 王 磊	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本実験・研究計画法 医倫理学序論 トランスレーショナルリサーチ概論 臨床疫学 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ	専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本実験・研究計画法 医倫理学序論 トランスレーショナルリサーチ概論 臨床疫学 基本医学研究 基本公衆衛生学研究	※１ ※２

専	教授	橋野 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	橋野 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基礎医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	基礎医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	村上 正晃	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	村上 正晃	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	教授	近藤 亨	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	教授	近藤 亨	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担 兼担	教授 准教授 教授	石津 明洋 田中 敏 畑中 豊	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				応用社会行動科学(精神保健学)	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	応用社会行動科学(精神保健学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより責任教員が取りまとめて教育する。(29)
専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本実験・研究計画法					基本実験・研究計画法	
				医倫理学序論					医倫理学序論	
				基礎生物統計学					基礎生物統計学	
				臨床情報工学					臨床情報工学	
				臨床疫学					臨床疫学	
				応用生物統計学(臨床研究統計解析)					応用生物統計学(臨床研究統計解析)	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				応用疫学(研究デザイン立案演習)	専 専 兼担	助教 助教 助教	鵜川 重和 佐々木 成子 岡田 恵美子	平成29年4月	応用疫学(研究デザイン立案演習)	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
				応用生物統計学(データ解析演習)	兼担	准教授	伊藤 公人	平成29年4月	応用生物統計学(データ解析演習)	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)

専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅰ					基本医学研究法Ⅰ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎社会行動科学					基礎社会行動科学	
				応用社会行動科学(健康行動科学)					応用社会行動科学(健康行動科学)	
				応用社会行動科学(地域医療学)					応用社会行動科学(地域医療学)	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担 兼担	教授 准教授 教授	石津 明洋 田中 敏 畑中 豊	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
				応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)	専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	応用社会行動科学(法医学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，講義題目及び科目担当教員の変更(29)
専	准教授	北村 信人	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ			後任未定			平成29年4月北村准教授退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅱ						
				基本医学研究Ⅰ						
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学総論						
専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	倉島 庸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	倉島 庸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
専	准教授	今野 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	今野 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				－					臨床ゲノミクス概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	中川 伸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	中川 伸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				応用社会行動科学(精神保健学)	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	応用社会行動科学(精神保健学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより責任教員が取りまとめて教育する。(29)
専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎疫学					基礎疫学	
				応用疫学(研究デザイン立案演習)					応用疫学(研究デザイン立案演習)	
				応用疫学(ＥＢＭ演習)					応用疫学(ＥＢＭ演習)	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				－					応用疫学 (疫学研究の実際)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
				応用生物統計学(観察研究の統計解析)	兼担	教授	前仲 勝美	平成29年4月	応用生物統計学（創薬発見科学）	平成29年１月 教育体制の見直しにより，講義題目，担当教員の変更(29)
専	准教授	西江 渉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	西江 渉	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	野田 航介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	野田 航介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 臨床ゲノミクス概論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 臨床ゲノミクス概論 基本医学研究	※１
専	准教授	若尾 宏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論 基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ			後任未定			平成28年12月若尾准教授退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	講師	山﨑 美和子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 公開発表演習 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	准教授	山﨑 美和子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 公開発表演習 基本医学研究	※１
専	講師	泉 剛	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学総論			後任未定			平成29年３月泉講師退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	講師	及川 司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	講師	及川 司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	講師	小野寺 康仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	講師	小野寺 康仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	講師	絹川 真太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	講師	絹川 真太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	講師	近藤 健	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ ―	専	講師	近藤 健	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 臨床ゲノミクス概論	※１ 平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１
専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※１

専	講師	高畑 雅彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	高畑 雅彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				臨床病理・検査医学					臨床病理・検査医学	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				―					臨床ゲノミクス概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
				臨床シークエンス技法	兼担 兼担	助教 助教	林 秀幸 天野 虎次	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
				臨床病理・検査医学	兼担 兼担 兼担	教授 准教授 教授	石津 明洋 田中 敏 畑中 豊	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	講師	中山 若樹	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	中山 若樹	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	早川 峰司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	早川 峰司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学研究法Ⅱ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基本医学研究法Ⅱ	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	講師	真崎 雄一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	真崎 雄一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学研究法Ⅱ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	基本医学研究法Ⅱ	平成29年1月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	講師	森川 守	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	森川 守	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	保田 晋助	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	准教授	保田 晋助	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	講師	山田 雅文	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	山田 雅文	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						

専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基礎保健医療管理学					基礎保健医療管理学	
				基礎環境保健学					基礎環境保健学	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				応用保健医療管理学（医療経済学）					応用保健医療管理学（人口学）	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用保健医療管理学（医療経済学）」から講義題目を変更(29)
				応用環境保健学（産業保健・環境毒性学）					応用環境保健学（産業保健学）	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用環境保健学（産業保健・環境毒性学）」から講義題目を変更(29)
				応用環境保健学（感染症疫学）					応用環境保健学（感染症疫学）	平成29年１月 教育内容の充実を図るため，「応用環境保健学（感染症疫学）」に「応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）」を統合(29)
				応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）						
専	助教	浅野 毅	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	浅野 毅	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
専	助教	有木 宏美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	有木 宏美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	稲葉 直子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	稲葉 直子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	伊 敏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	伊 敏	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	岩野 弘幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	岩野 弘幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	岩見 大基	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	岩見 大基	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				－					基礎疫学	平成29年１月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
				－					応用疫学（研究デザイン立案演習）	
				－					応用疫学（ＥＢＭ演習）	
				－					応用疫学（疫学研究の実際）	
専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	内田 洋介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	内田 洋介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	江川 潔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	江川 潔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	榎木 亮介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	榎木 亮介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	大林 由英	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	大林 由英	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				応用保健医療管理学（医療政策学）					応用保健医療管理学（医療政策学）	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				－					応用環境保健学（国際保健医学）	平成29年１月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
専	助教	大平 洋	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	大平 洋	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	大村 優	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	大村 優	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)

専	助教	折茂 達也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	折茂 達也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	加納 崇裕	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	加納 崇裕	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	川久保 和道	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	川久保 和道	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	北市 雄士	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	北市 雄士	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	木村 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	木村 俊介	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅰ					基本医学研究法Ⅰ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	小林 純子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	小林 純子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅰ					基本医学研究法Ⅰ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	今野 幸太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	今野 幸太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	金野 陽輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	金野 陽輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	佐々木 成子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	佐々木 成子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ					基本公衆衛生学研究	※２
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
				－					基礎疫学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
				－					応用疫学（研究デザイン立案演習）	
				－					応用疫学（ＥＢＭ演習）	
				－					応用疫学（疫学研究の実際）	

専	助教	清水 健太	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	清水 健太	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	志馬 寛明	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ			後任未定			平成29年３月志馬助教退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅱ						
				基本医学研究Ⅰ						
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学総論						
専	助教	杉本 智恵	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ			後任未定			平成29年３月杉本助教退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅱ						
				基本医学研究Ⅰ						
				基本医学研究Ⅱ						
				基本医学総論						
				基本公衆衛生学研究Ⅰ						
				基本公衆衛生学研究Ⅱ						
専	助教	高橋 育子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	高橋 育子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	竹内 啓	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	竹内 啓	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	武田 真人	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	武田 真人	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	築山 忠維	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	築山 忠維	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	津田 祥美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	講師	津田 祥美	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	土佐 紀子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	土佐 紀子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究概論					基本医学研究概論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	中村 透	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	中村 透	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	西出 真也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	西出 真也	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※１
				基本医学研究Ⅱ						

専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究法Ⅱ					基本医学研究法Ⅱ	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	橋本 あり	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	橋本 あり	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	東 恒仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	東 恒仁	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	平田 健司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	平田 健司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	藤原 圭司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	藤原 圭司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	本間 理央	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	本間 理央	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
				－					応用社会行動科学(法医学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，「応用社会行動科学（医療コミュニケーション学）」から講義題目名を変更し担当者として追加(29)
専	助教	三井信幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	三井 信幸	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						
専	助教	宮崎 太輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	専	助教	宮崎 太輔	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基本医学総論					基本医学総論	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基本医学研究Ⅰ					基本医学研究	※1
				基本医学研究Ⅱ						

専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※1
専	助教	村上 壮一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	村上 壮一	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※1
専	助教	村上 学	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基礎医学概論 臨床医学概論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	村上 学	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基礎医学概論 臨床医学概論 基本医学研究	※1
専	助教	山野邉 貴信	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ ―	専	助教	山野邉 貴信	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 基本医学研究概論	※1 平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
専	助教	横田 卓	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	横田 卓	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※1
専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※1
専	助教	渡部 昌	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ	専	助教	渡部 昌	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究	※1
					専	助教	山野邉 貴信	平成29年4月	基本医学研究概論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
					専	准教授	守屋 仁彦	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
					専	助教	杉野 弘和	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
					専	助教	竹谷 隆司	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
					専	助教	中川 雅夫	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
					専	助教	鷲尾 浩平	平成29年4月	研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論	平成29年1月 教育体制の見直しにより， 科目担当教員として追加 (29)
兼担	教授	小笠原 克彦	平成29年4月	医倫理学序論 応用保健医療管理学(医療マネジメント学)						

兼担	教授	久下 裕司	平成29年4月	基本医学研究概論						
兼担	教授	近藤 英治	平成29年4月	応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)	専 専	教授 教授	渥美 達也 岩崎 倫政	平成29年4月	応用社会行動科学(健康増進学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，講義題目名及び担当者の変更(29)
兼担	教授	佐伯 和子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域保健学)	兼担	教授	佐伯 和子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域保健活動)	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，応用社会行動科学(地域保健学)」から講義題目名変更(29)
兼担	教授	西原 広史	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論 臨床情報工学 臨床シークエンス技法 臨床病理・検査医学			後任未定			平成29年３月西原教授退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員２名以上で担当しているため，支障はない。
兼担	教授	宮永 喜一	平成29年4月	臨床情報工学						
兼担	教授	山内 太郎	平成29年4月	応用環境保健学(国際保健医学) ―	兼担	教授	山内 太郎	平成29年4月	応用環境保健学(国際保健医学) 応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	 平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
兼担	准教授	荒木 敦子	平成29年4月	応用環境保健学(環境健康学) ―	兼担	准教授	荒木 敦子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康) 応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用環境保健学(環境健康学)」から講義題目変更(29) 平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
兼担	准教授	遠藤 晃	平成29年4月	臨床情報工学 臨床疫学 応用保健医療管理学(医療情報学)	兼担	准教授	遠藤 晃	平成29年4月	臨床情報工学 臨床疫学 応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	 平成29年１月 効果的かつ効率的な教育を行うため，「応用保健医療管理学(医療安全学)」と「応用保健医療管理学（医療情報学）」を統合し，講義題目を変更(29)
兼担	准教授	七戸 秀夫	平成29年4月	応用社会行動科学(生命倫理学)						
兼担	准教授	清水 力	平成29年4月	臨床病理・検査医学						
兼担	准教授	長 和俊	平成29年4月	臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療安全管理学)	兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)	平成29年１月 効果的かつ効率的な教育を行うため，「応用保健医療管理学(医療安全管理学)」と「応用保健医療管理学（医療情報学）」を統合し，講義題目を変更(29)
兼担	准教授	行木 孝夫	平成29年4月	臨床情報工学						
兼担	准教授	平野 美千代	平成29年4月	応用社会行動科学(地域保健学)	兼担	准教授	平野 美千代	平成29年4月	応用社会行動科学(地域保健活動)	平成29年１月 講義題目と教育内容を一致させるため，「応用社会行動科学(地域保健学)」から講義題目名変更(29)
兼担	講師	船越 忠直	平成29年4月	臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
兼担	講師	山田 崇弘	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論						
兼担	講師	横式 尚司	平成29年4月	臨床医学概論	専 専	教授 助教	大滝 純司 村上 学	平成29年4月	臨床医学概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)

兼任	非常勤講師	岸 玲子		基本実験・研究計画法	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	基本実験・研究計画法	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
					兼任	非常勤講師	岸 玲子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康) 応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
					兼担	助教	岡田 恵美子	平成29年4月	基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(ＥＢＭ演習) 応用疫学(疫学研究の実際)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	長谷山 美紀	平成29年4月	臨床情報工学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	水田 正弘	平成29年4月	臨床情報工学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	助教	林 秀幸	平成29年4月	臨床シークエンス技法 臨床ゲノミクス概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	助教	天野 虎次	平成29年4月	臨床シークエンス技法	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	石津 明洋	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	准教授	田中 敏	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	畑中 豊	平成29年4月	臨床病理・検査医学	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	准教授	伊藤 公人	平成29年4月	応用生物統計学(生物情報学と計算生物学)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	前仲 勝実	平成29年4月	応用生物統計学(創薬発見科学)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
					兼担	助教	水野 芳子	平成29年4月	応用社会行動科学(地域保健学)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
					兼担	准教授	宮下 ちひろ	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	講師	伊藤 佐智子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	講師	湊屋 街子	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	田中 俊逸	平成29年4月	応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
					兼担	教授	松本 伊知朗	平成29年4月	応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)
					兼担	准教授	藏崎 正明	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境適応学特論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加(29)

					兼担	教授	田中 俊逸	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境適応学特論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加 (29)
					兼担	准教授	豊田 和弘	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境適応学特論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加 (29)
					兼担	准教授	沖野 龍文	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境適応学特論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加 (29)
					兼担	教授	齋藤 健	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学特論)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼担	教授	細川 敏幸	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学特論)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼担	教授	本村 泰三	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学特論)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼担	准教授	廣川 淳	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼担	教授	清水 伸一	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼担	助教	王 磊	平成29年4月	臨床ゲノミクス概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)
					兼任	非常勤講師	池野 多美子	平成29年4月	応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	平成29年1月 教育課程を充実させるため，科目担当教員の追加 (29)
					兼任	非常勤講師	神 和夫	平成29年4月	応用環境保健学(環境適応学総論) 応用環境保健学(環境計量学特論)	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加 (29)

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
52	28	19	62	161	44	31	15	63	153	44	31	15	63	153
(44)	(32)	(15)	(63)	(154)						[△8]	[3]	[△4]	[1]	[△8]

研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
57	104	0	52	101	0	52	101	0
(52)	(102)	(0)				[△5]	[△3]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
・専門職大学院の場合は，「研究指導教員」を「研究者教員」と，「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

〈修士課程〉

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	玉木 長良	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修／選択	臨床医学概論	①	※履修コースにより，必修／選択の区別が異なる。
2	教授	筒井 裕之	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年７月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
3	教授	福田 諭	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
4	教授	安田 和則	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
5	教授	櫻木 範明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
6	教授	水上 尚典	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
7	教授	瀬谷 司	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
8	教授	三輪 聡一	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年９月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修／選択	基礎医学概論	①	※履修コースにより，必修／選択の区別が異なる。
9	准教授	若尾 宏	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年12月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅰ	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅱ	①	

10	講師	泉 剛	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
11	助教	志馬 寛明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
12	助教	杉本 智恵	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅰ	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅱ	①	

合計（Ａ）				後任補充状況の集計（Ｂ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
12 人	必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

※履修コースにより，必修／選択の別が異なる「基礎医学概論」・「臨床医学概論」は，必修科目としてカウントした。

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	北村 信人	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年4月退職のため辞任(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	

合計（C）				後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	4	科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	5	科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
13　人	必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴う就任辞退であるが，いずれの科目も分野・教室の助教以上の専任教員全員で担当していることから教育・研究指導に支障はない。
学生に対しては，教員の所属教室において周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を
記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設　置　時 （平成２９年４月）	該当なし			

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜大学院医学院 医科学専攻（修士課程）＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	該当なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

２．大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センター会議

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（平成29年度開催予定）

２．大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会（平成29年度開催予定），
大学院医学研究院医学教育推進センター会議（平成29年度開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。
職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。
総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。
その他教職員等の研修に関すること。

２．大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センター会議
医学教育の研究開発・企画，立案，実施にかかること
教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること
共用試験についての実施及び管理に関すること
教員のFDについての企画及び実施に関すること
その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

ａ 実施内容

本学教職員を対象としたＦＤの実施

ｂ 実施方法

ワークショップ形式，講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたＦＤの実施

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度の実施状況は以下のとおりであり，平成29年度も継続的にＦＤを実施する予定である。

・「クリッカーの使い方入門」研修（4/22,5/26，北大：19名，北大以外：9名）
・「学習への動機付けを行う授業スキル」ワークショップ（5/13，北大：11名，北大以外：5名）
・新任教員向け研修「知って活用したい北大の諸制度」（5/20，北大：36名）
・ワークショップ「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」（5/27，北大：21名，北大以外：8名）
・総長室事業推進経費プロジェクトによる北大教育改革に係る研究成果発表ワークショップ（6/8，北大：37名）
・第２９回北海道大学教育ワークショップ（6/17-18，北大：21名）
・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの実践」（5-7月，期間中4回，北大：6名）
・講演会「第三期中期計画・中期目標からみる今後の国立大学の方向性」（6/22，北大：93名，北大以外：16名）
・ワークショップ「学生の思考を深め，発言を促すための問いかけと場づくり」（6/23，北大：16名，北大以外：10名）
・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」（6/30，北大：28名，北大以外：5名）
・ルーブリック評価表作成ワークショップ（7/8，北大：18名，北大以外：13名）
・英語発音力講座（7/9,11，北大：94名，北大以外：1名）
・ワークショップ「英語でシラバスを作成する」（8/22，北大：11名）
・国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証～SA，TA，PFFなどのこれから～」（9/8，北大：43名，北大以外：13名）
・Workshop on creating rubrics（9/13，北大：8名，北大以外：1名）
・第３０回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15，北大：21名，北大以外：6名）
・講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（11/11，北大：33名，北大以外：19名）
・第３１回北海道大学教育ワークショップ（11/18-19，北大：15名，北大以外：1名）
・ワークショップ「学生の思考を深め，発言を促すための問いかけと場づくり」（12/9，北大：7名，北大以外：7名）
・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（前編）（12/12，北大：36名，北大以外：11名）
・シラバスのブラッシュアップ研修（12/17，北大：9名，北大以外：7名）
・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（後編）（12/19，北大：14名）
・研究室マネジメント研修（1/27，北大：13名，北大以外：4名）
・英語コミュニケーション研修（リスニング研修）（2/10，北大：24名，北大以外：6名）
・英語コミュニケーション研修（スピーキング研修）（2/11，北大：21名，北大以外：7名）
・講演「日本語による授業から英語による授業へ」（3/29，北大：40名，北大以外：7名）
・部局長研修会（4/25-3/9，期間中8回）

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各ＦＤ終了後にアンケートを実施し，参加者の傾向や満足度等を分析し，次回以降の同行事の改善に役立てている。

２．大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センター会議

ａ　実施内容

・初任者対象の，カリキュラムプランニングについてのワークショップ

・医学教育の国際認証基準，カリキュラム改革の必要性，新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール，診療参加型実習の具体例，学習項目や評価方法，学外実習の準備状況などについて講義

・国際基準に基づく医学教育分野別外部評価と，医学教育改革についての講義

・新カリキュラムの現状と課題についてのワークショップ

ｂ　実施方法

医学研究科，医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式，講義形式，講演会等のＦＤを実施し，受講証明書を発行した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

平成２８年１０月１２日（22名），４月２０日（74名），６月８日（49名），８月１２日（45名）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

１の全学ＦＤや専任教員の所属する教員組織におけるＦＤへの参加を強く推奨するほか，学院の自己点検評価・外部評価等を活用し，明らかになった問題点・課題について，教授会や教務委員会で検討を行い，教育改善に努める

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

ａ　実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度，第１学期と第２学期に実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し，高等教育推進機構のホームページに公表している。
第１学期と第２学期のデータを併せて１年分の結果を教員本人と教員の所属部局長，科目責任者へ通知している。
アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて，各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい，提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

２．大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センター会議

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末（前期：7月～8月、後期：1月～2月）に実施を予定している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

修了時アンケートの実施結果については，教務委員会において，カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。
公開方法等については，今後，検討予定である。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）及び医学院の理念（世界をリードする先進的医学研究の推進，高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下，医学・生命科学・社会医学（公衆衛生学）に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材，ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成29年4月には医科学専攻修士課程29名が入学したが，医学院の教育目標に基づき，医学・生命科学・公衆衛生学領域の研究者や教育者として，医療・公衆衛生関連分野の高度専門職業人として，あるいは保健医療や保健政策マネジメントなどの専門家として，それぞれの領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を有した人材を養成する。

今後，教育実施体制，教育内容・方法，学業の成果，進路・就職状況等の観点から，教育活動及び教育清課の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに，学外者による外部評価を受けることとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・本学院のホームページ上に公開予定（時期未定）

③ 認証評価を受ける計画

・本学では，平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり，
平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） （ 平成２９年 ６月 １日 ）

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人　北海道大学

（２）大　学　名

北海道大学

（３）大学の位置

〒０６０－８６３８：　北海道札幌市北区北１５条西７丁目
（〒０６０－０８０８：　北海道札幌市北区北８条西５丁目）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（ナワ　トヨハル） 名和　豊春 （平成29年4月1日）		
学 院 長	（ヨシオカ　ミツヒロ） 吉岡　充弘 （平成29年4月1日）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

〈博士課程〉

（５）　調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　様式は，平成２７年度開設の博士後期課程の場合（平成２９年度までの３年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備　考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医学院 医学専攻（博士課程） 博士（医学）	医学関係	年 4	人 90	人 360	基礎となる学部等 医学部医学科

（注）・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

区分＼報告年度	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	人 90 （　－　） ［　－　］	人	人 （　　） ［　　］	人	人 （　　） ［　　］	人	人 （　　） ［　　］	人	0.93倍	毎年10月入学で6名前後の入学者が見込まれることから，定員は充足する予定である。
志願者数	88 （ 6 ） ［ 5 ］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
受験者数	87 （ 6 ） ［ 5 ］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
合格者数	84 （ 6 ） ［ 5 ］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
Ｂ　入学者数	84 （ 6 ） ［ 5 ］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.93									

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・（　）内には，社会人の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
・［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平成３２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	84 [5] （－）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	
２年次			[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	
３年次					[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	[ ] （ ）	
４年次							[ ] （ ）	[ ] （ ）	
計	84 [5] （ － ）		[ ] （ ）		[ ] （ ）		[ ] （ ）		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

〈博士課程〉

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成29年度入学者	84 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00　%
合　計	84 人	0 人					0.00　%

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

〈博士課程〉

2　授業科目の概要

＜大学院 医学院 医学専攻＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
共通コア科目	医学研究概論	1前	1			2 ~~3~~			2 ~~1~~	1 ~~2~~	兼 1	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	実験・研究計画法	1前	1			5 ~~4~~	1				~~兼 1~~	教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	公開発表演習	1･2･3通	1			1	1	~~1~~	3			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	医倫理学	1前	1			7 ~~6~~	1				兼 1	教育課程を充実させるため，担当教員を追加。（29）
	研究発表技法Ⅰ	1･2･3･4通	1			44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	研究発表技法Ⅱ	1･2･3･4通	2			44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	トランスレーショナルリサーチ概論	1前	1			1						
必修科目（基盤医学コース）	医学研究法Ⅰ	1･2前	1			3	2 ~~1~~	~~1~~	5			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	医学研究法Ⅱ	1･2前･後	1			3 ~~2~~		~~2~~	1			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	基盤医学研究	**1～4通**	**10**			**44**	**31**	**15**	**63**			科目の新設（29）
	~~基盤医学研究Ⅰ~~	~~1～4通~~	~~4~~			~~52~~	~~28~~	~~19~~	~~62~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基盤医学研究」へ統合。（29）
	~~基盤医学研究Ⅱ~~	~~1～4通~~	~~6~~			~~52~~	~~28~~	~~19~~	~~62~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「基盤医学研究」へ統合。（29）
必修科目（臨床医学コース）	臨床医学研究法Ⅰ	1･2通	1			1 ~~2~~						教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	臨床医学研究法Ⅱ	1･2通	1								兼 1	
	臨床医学研究	**1～4通**	**10**			**22**	**21**	**7**	**20**			科目の新設（29）
	~~臨床医学研究Ⅰ~~	~~1～4通~~	~~4~~			~~27~~	~~18~~	~~10~~	~~19~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「臨床医学研究」へ統合。（29）
	~~臨床医学研究Ⅱ~~	~~1～4通~~	~~6~~			~~27~~	~~18~~	~~10~~	~~19~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「臨床医学研究」へ統合。（29）
必修科目（社会医学コース）	社会医学研究法Ⅰ	1･2後	1			1	1		1			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）
	社会医学研究法Ⅱ	1･2前	1				1					
	社会医学研究	**1～4通**	**10**			**5**	**4**		**6**			科目の新設（29）
	~~社会医学研究Ⅰ~~	~~1～4通~~	~~4~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「社会医学研究」へ統合。（29）
	~~社会医学研究Ⅱ~~	~~1～4通~~	~~6~~			~~5~~	~~5~~		~~7~~			科目の廃止：効果的かつ効率的な教育を行うため，「社会医学研究」へ統合。（29）
選択科目	医学総論	1･2･3･4前･後		2		44 ~~52~~	31 ~~28~~	15 ~~19~~	63 ~~62~~			教育実施体制の見直しにより，担当教員を変更。（29）

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	1	0	20	16	1	0	17	
				[△3]	[0]	[0]	[△3]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

〈博士課程〉

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	基盤医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基盤医学研究（10単位）として開講
2	基盤医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，基盤医学研究（10単位）として開講
3	臨床医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，臨床医学研究（10単位）として開講
4	臨床医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，臨床医学研究（10単位）として開講
5	社会医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，社会医学研究（10単位）として開講
6	社会医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため，社会医学研究（10単位）として開講

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については，研究指導科目であり，全て効果的かつ効率的な教育を行うため，一つの科目に統合したものである。教育内容及び修了要件に影響はない。
学生に対しては，シラバスにて周知済みである。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{6}{20} = 30.00\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	923,867 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	923,867 ㎡	大学全体
	運動場用地	175,488 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	175,488 ㎡	
	小計	1,099,355 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	1,099,355 ㎡	
	その他	659,049,323 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	659,049,323 ㎡	
	合計	660,148,678 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	660,148,678 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		776,494 ㎡ （776,494 ㎡）	0 ㎡ （0 ㎡）	0 ㎡ （0 ㎡）	776,494 ㎡ （776,494 ㎡）	大学全体

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	６８室	室	室	室 （補助職員　人）	室 （補助職員　人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	医学部　医学科	１３６　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	医学院	3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	89,444	0	0	学院単位での特定が不能なため，大学全体の数
		3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	(89,444)	(0)	(0)	
	計	3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	89,444	0	0	
		3,838,813 〔1,788,390〕	84,673 〔37,105〕	21,399 〔20,170〕	(89,444)	(0)	(0)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	33,542 ㎡	2,224 席	425 万冊	同上

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	7,429 ㎡	ﾃﾆｽｺｰﾄ(11)，野球場(3)，ﾌﾟｰﾙ(2)，ﾎｯｹｰ･ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ場(1)，陸上競技場(1)，ｻｯｶｰ･ﾗｸﾞﾋﾞｰ場(1)，ｱﾒﾘｶﾝﾌｯﾄﾎﾞｰﾙ･ﾗｸﾛｽ場(1)，ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ(1)，武道場(1)，剣道場(1)，弓道場(1)，洋弓場(1)，ﾗｲﾌﾙ射撃場(1)，ﾎﾞｰﾄ艇庫(1)，ﾖｯﾄ艇庫(1)，馬場(1)，山小屋(4)	同上

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要									
	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	北海道大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
文学部							S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部			③10				S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50		220	学士(教育学)	1.12	S24		
法学部			②/③				S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	10/10	850	学士(法学)	1.04	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)		S28		入学時点で学科未定
経営学科	4	90		360	学士(経営学)		S41		
理学部							S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.00	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.00	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.03	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.02	H6		
医学部							S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720		1.04	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
看護学専攻	4	70		280	学士(看護学)/(保健学)	1.09	H16		
放射線技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.01	H16		
検査技術科学専攻	4	37		148	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
理学療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.00	H16		
作業療法学専攻	4	18		72	学士(看護学)/(保健学)	1.02	H16		
歯学部							S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	1.00	S42		
薬学部						-	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)		H18		入学時点で学科未定かつ両学科で修業年限が異なるため超過率計算不能
薬学科	6	30		180	学士(薬学)		H18		
工学部			③10				S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.06	H17		
情報ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ学科	4	180		720	学士(工学)	1.06	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.14	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.02	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		入学時点で学科未定
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)		H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)		H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)		H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)		H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)		S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)		S24		
獣医学部							S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.04	H24		
水産学部						1.00	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		入学時点で学科未定
海洋資源科学科	4	53		212	学士(水産学)		H18		
増殖生命科学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		
資源機能化学科	4	54		216	学士(水産学)		H18		

文学研究科								S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学	M	2	14		28	修士(文学)	0.82	H12		
	D	3	6		18	博士(文学)	0.55	H12		
歴史地域文化学	M	2	28		56	修士(文学)/(学術)	0.71	H12		
	D	3	11		33	博士(文学)/(学術)	0.75	H12		
言語文学	M	2	29		58	修士(文学)	0.93	H12		
	D	3	11		33	博士(文学)	0.87	H12		
人間ｼｽﾃﾑ科学	M	2	19		38	修士(文学)	1.34	H12		
	D	3	7		21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科								S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学	M	2	20		40	修士(法学)	0.90	H12		
	D	3	15		45	博士(法学)	0.37	H12		
法律実務	P	3	50		150	法務博士(専門職)	0.86	H16		
医学研究科								S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学	M	2	－		－	修士(医科学)	－	H14		
医学	D	4	－		－	博士(医学)	－	H19		
情報科学研究科								H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学	M	2	48		96	修士(工学)/(情報科学)	0.93	H26		
	D	3	12		36	博士(工学)/(情報科学)	0.72	H26		
情報ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ	M	2	39		78	修士(工学)/(情報科学)	1.11	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	0.79	H16		
生命人間情報科学	M	2	33		66	修士(工学)/(情報科学)	0.82	H16		
	D	3	6		18	博士(工学)/(情報科学)	0.33	H16		
ﾒﾃﾞｨｱﾈｯﾄﾜｰｸ	M	2	30		60	修士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	1.03	H16		
ｼｽﾃﾑ情報科学	M	2	27		54	修士(工学)/(情報科学)	1.27	H16		
	D	3	8		24	博士(工学)/(情報科学)	1.08	H16		
水産科学院								H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学	M	2	43		86	修士(水産科学)	0.99	H17		
	D	3	17		51	博士(水産科学)	0.30	H17		
海洋応用生命科学	M	2	47		94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18		54	博士(水産科学)	0.51	H17		
環境科学院								H17	札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学	M	2	44		88	修士(環境科学)	0.90	H17		
	D	3	15		45	博士(環境科学)	0.57	H17		
地球圏科学	M	2	35		70	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	14		42	博士(環境科学)	0.49	H17		
生物圏科学	M	2	52		104	修士(環境科学)	0.91	H17		
	D	3	23		69	博士(環境科学)	0.57	H17		
環境物質科学	M	2	28		56	修士(環境科学)	0.99	H17		
	D	3	11		33	博士(環境科学)	0.60	H17		
理学院								H18	札幌市北区北10条西8丁目	
数学	M	2	46		92	修士(理学)	0.84	H18		
	D	3	17		51	博士(理学)	0.44	H18		
物性物理学	M	2	24		48	修士(理学)	0.95	H18		
	D	3	10		30	博士(理学)	0.70	H18		
宇宙理学	M	2	20		40	修士(理学)	0.82	H18		
	D	3	9		27	博士(理学)	0.92	H18		
自然史科学	M	2	39		78	修士(理学)	1.26	H18		
	D	3	20		60	博士(理学)	0.93	H18		

農学院								H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学	M	2	40		80	修士(農学)	0.71	H18		
	D	3	8		24	博士(農学)	1.04	H18		
生物資源科学	M	2	42		84	修士(農学)	1.18	H18		
	D	3	14		42	博士(農学)	0.57	H18		
応用生物科学	M	2	18		36	修士(農学)	1.99	H18		
	D	3	6		18	博士(農学)	0.77	H18		
環境資源学	M	2	42		84	修士(農学)	1.17	H18		
	D	3	14		42	博士(農学)	0.78	H18		
生命科学院								H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学	M	2	132		264	修士(生命科学)/(薬科学)	0.93	H18		
	D	3	46		138	博士(生命科学)/(薬科学)	0.79	H18		
臨床薬学	D	4	4		16	博士(臨床薬学)	1.56	H24		
教育学院								H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学	M	2	45		90	修士(教育学)	0.96	H19		
	D	3	21		63	博士(教育学)	0.67	H19		
国際広報ﾒﾃﾞｨｱ･観光学院								H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報ﾒﾃﾞｨｱ	M	2	27		54	修士(国際広報ﾒﾃﾞｨｱ)/(学術)	1.05	H19		
	D	3	14		42	博士(国際広報ﾒﾃﾞｨｱ)/(学術)	0.54	H19		
観光創造	M	2	15		30	修士(観光学)	1.03	H19		
	D	3	3		9	博士(観光学)	1.33	H19		
保健科学院								H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学	M	2	40		80	修士(保健科学)/(看護学)	1.50	H20		
	D	3	10		30	博士(保健科学)/(看護学)	1.09	H22		
工学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学	M	2	33		66	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	9		27	博士(工学)	0.55	H22		
材料科学	M	2	39		78	修士(工学)	1.01	H22		
	D	3	7		21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学	M	2	27		54	修士(工学)	1.16	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ	M	2	26		52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.60	H22		
ｴﾈﾙｷﾞｰ環境ｼｽﾃﾑ	M	2	26		52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.66	H22		
量子理工学	M	2	20		40	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.53	H22		
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞ工学	M	2	24		48	修士(工学)	1.14	H22		
	D	3	6		18	博士(工学)	0.77	H22		
北方圏環境政策工学	M	2	26		52	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	7		21	博士(工学)	0.61	H22		
建設都市空間ﾃﾞｻﾞｲﾝ	M	2	22		44	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能ｼｽﾃﾑ	M	2	27		54	修士(工学)	0.94	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.46	H22		
環境創生工学	M	2	28		56	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	0.33	H22		
環境循環ｼｽﾃﾑ	M	2	18		36	修士(工学)	1.29	H22		
	D	3	5		15	博士(工学)	1.53	H22		
共同資源工学	M	2	10		20	修士(工学)	1.30	H29		平成29年4月設置
総合化学院								H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学	M	2	129		258	修士(総合化学)	1.13	H22		
	D	3	38		114	博士(理学)/(工学)/(総合化学)	1.10	H22		
経済学院								S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営	M	2	35		70	修士(経済学)/(経営学)	1.10	H12		
	D	3	8		24	博士(経済学)/(経営学)	0.65	H12		
会計情報	P	2	20		40	会計修士(専門職)	0.87	H17		

医学院								H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医科学	M	2	20		40	修士(医科学)/(公衆衛生学)	1.45	H29		
医学	D	4	90		360	博士(医学)	0.93	H29		
歯学院								S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学	D	4	40		160	博士(歯学)	0.72	H12		
獣医学院								S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学	D	4	16		64	博士(獣医学)	1.05	H7		
医理工学院								H29	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年4月設置
医理工学	M	2	12		24	修士(医理工学)	1.25	H29		
	D	3	5		15	博士(医理工学)	1.20	H29		
国際感染症学院								H29	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月設置
感染症学	D	4	12		48	博士(感染症学)/(獣医学)	0.91	H29		
国際食資源学院								H29	札幌市北区北9条西9丁目	平成29年4月設置
国際食資源学	M	2	15		30	修士(食資源学)	1.13	H29		
公共政策学教育部								H17	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学	P	2	30		60	公共政策学修士(専門職)	1.14	H17		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜大学院医学院 医学専攻（博士課程）＞

（1） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
					備考欄の注記は以下のとおりである。 ※１ 効果的かつ効率的な教育を行うため，「基盤医学研究Ⅰ（４単位）」及び「基盤医学研究Ⅱ（６単位）」を「基盤医学研究（10単位）」に統合(29) ※２ 効果的かつ効率的な教育を行うため，「臨床医学研究Ⅰ（４単位）」及び「臨床医学研究Ⅱ（６単位）」を「臨床医学研究（10単位）」に統合(29) ※３ 効果的かつ効率的な教育を行うため，「社会医学研究Ⅰ（４単位）」及び「社会医学研究Ⅱ（６単位）」を「社会医学研究（10単位）」に統合(29)					
専	教授	有川 二郎	平成29年4月	医学総論	専	教授	有川 二郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究概論					医学研究概論	
				医倫理学					医倫理学	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	医学総論	専	教授	秋田 弘俊	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				臨床医学研究法Ⅰ					臨床医学研究法Ⅰ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	渥美 達也	平成29年4月	医学総論	専	教授	渥美 達也	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	医学総論	専	教授	荒戸 照世	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※３
				社会医学研究Ⅱ						
専	教授	有賀 正	平成29年4月	医学総論	専	教授	有賀 正	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医倫理学					医倫理学	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	石田 晋	平成29年4月	医学総論	専	教授	石田 晋	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	医学総論	専	教授	岩崎 倫政	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						

専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	医学総論	専	教授	岩永 敏彦	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学研究概論	専 専	教授 教授	有川 二郎 渡邊 雅彦	平成29年4月	医学研究概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	教授	大滝 純司	平成29年4月	医学総論	専	教授	大滝 純司	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				実験・研究計画法					実験・研究計画法	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						
専	教授	大場 雄介	平成29年4月	医学総論	専	教授	大場 雄介	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅱ					医学研究法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	笠原 正典	平成29年4月	医学総論	専	教授	笠原 正典	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	神谷 温之	平成29年4月	医学総論	専	教授	神谷 温之	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	丸藤 哲	平成29年4月	医学総論	専	教授	丸藤 哲	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	久住 一郎	平成29年4月	医学総論	専	教授	久住 一郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	医学総論	専	教授	坂本 直哉	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	医学総論	専	教授	佐々木 秀直	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医倫理学					医倫理学	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	医学総論	専	教授	佐邊 壽孝	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						

専	教授	篠原 信雄	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	篠原 信雄	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	※１ ※２
専	教授	清水 宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	清水 宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	※１ ※２
専	教授	武冨 紹信	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医倫理学 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	武冨 紹信	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医倫理学 基盤医学研究 臨床医学研究	※１ ※２
専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 実験・研究計画法 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	教授	田中 伸哉	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 実験・研究計画法 基盤医学研究	※１
専	教授	田中 真樹	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	教授	田中 真樹	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅱ 基盤医学研究	※１
専	教授	玉木 長良	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月玉木教授退職(29) 「後任未定」 公募時期未定 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない
専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 社会医学研究法Ⅰ 医倫理学 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ －	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 社会医学研究法Ⅰ 医倫理学 基盤医学研究 社会医学研究 実験・研究計画法	※１ ※３ 平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
専	教授	筒井 裕之	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成28年7月筒井教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない
専	教授	豊嶋 崇徳	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ －	専	教授	豊嶋 崇徳	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究 医倫理学	※１ ※２ 平成29年１月 教育効果を高めるため教室持ち回りの科目としており，科目担当教員として追加(29)

専	教授	西浦 博	平成29年4月	医学総論	専	教授	西浦 博	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						
専	教授	西村 正治	平成29年4月	医学総論	専	教授	西村 正治	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	畠山 鎮次	平成29年4月	医学総論	専	教授	畠山 鎮次	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	平野 聡	平成29年4月	医学総論	専	教授	平野 聡	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	医学総論	専	教授	松居 喜郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	森本 裕二	平成29年4月	医学総論	専	教授	森本 裕二	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	山本 有平	平成29年4月	医学総論	専	教授	山本 有平	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	医学総論	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				実験・研究計画法					実験・研究計画法	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				—					医学研究法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月	医学総論	専	教授	渡辺 雅彦	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ	
				公開発表演習					公開発表演習	
				医学研究概論					医学研究概論	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						

専	教授	福田 諭	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月福田教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	安田 和則	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月安田教授退職(29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	櫻木 範明	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月櫻木教授、水上教授退職(29) 「後任未定」 両教授が担当していた2教室を1教室に再編することに伴い，専任教員１名を公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	水上 尚典	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月水上教授、櫻木教授退職(29) 「後任未定」 両教授が担当していた2教室を1教室に再編することに伴い，専任教員１名を公募中（選考決定後速やかに採用予定）。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	瀬谷 司	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ			後任未定			平成28年3月瀬谷教授退職(29) 「後任者就任時期未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	三輪 聡一	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ			後任未定			平成28年9月三輪教授退職(29) 「後任未定」 公募時期未定。 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	教授	寶金 清博	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	寶金 清博	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	生駒 一憲	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	教授	松野 吉宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究	 ※１
専	教授	山下 啓子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	山下 啓子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２

専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	医学総論	専	教授	佐藤 典宏	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				トランスレーショナルリサーチ概論					トランスレーショナルリサーチ概論	
				医倫理学					医倫理学	
				実験・研究計画法					実験・研究計画法	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究法Ⅰ		教授	秋田 弘俊	平成29年4月	臨床医学研究法Ⅰ	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員の変更(29)
専	教授	橋野 聡	平成29年4月	医学総論	専	教授	橋野 聡	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	医学総論	専	教授	廣瀬 哲郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	医学総論	専	教授	清野 研一郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	医学総論	専	教授	野口 昌幸	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	村上 正晃	平成29年4月	医学総論	専	教授	村上 正晃	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	教授	近藤 亨	平成29年4月	医学総論	専	教授	近藤 亨	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	医学総論	専	准教授	外丸 詩野	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	医学総論	専	准教授	朝倉 聡	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	医学総論	専	准教授	伊藤 陽一	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				社会医学研究法Ⅱ					社会医学研究法Ⅱ	
				医倫理学					医倫理学	
				実験・研究計画法					実験・研究計画法	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						

専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	准教授	岩永 ひろみ	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ	
									基盤医学研究	※1
専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	大西 俊介	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2
専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	鬼丸 力也	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2
専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	神山 俊哉	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2
専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ	専	准教授	川畑 秀伸	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									社会医学研究	※3
専	准教授	北村 信人	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年4月北村准教授退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	木下 一郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2
専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	工藤 正尊	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2
専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	准教授	久保 大輔	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
専	准教授	倉島 庸	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	倉島 庸	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	
									基盤医学研究	※1
									臨床医学研究	※2

専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	医学総論	専	准教授	小華和 柾志	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究
				社会医学研究Ⅱ					
専	准教授	今野 哲	平成29年4月	医学総論	専	准教授	今野 哲	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	医学総論	専	准教授	志賀 哲	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	医学総論	専	准教授	七戸 俊明	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	医学総論	専	准教授	寺坂 俊介	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	中川 伸	平成29年4月	医学総論	専	准教授	中川 伸	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	医学総論	専	准教授	中村 幸志	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究
				社会医学研究Ⅱ					
				―					社会医学研究法Ⅰ
専	准教授	西江 渉	平成29年4月	医学総論	専	准教授	西江 渉	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	野田 航介	平成29年4月	医学総論	専	准教授	野田 航介	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究
				臨床医学研究Ⅱ					
専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	医学総論	専	准教授	南保 明日香	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究
				基盤医学研究Ⅱ					

基盤医学研究	※１
社会医学研究	※３
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１
社会医学研究	※３
社会医学研究法Ⅰ	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１
臨床医学研究	※２
基盤医学研究	※１

専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	古川 洋志	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	本間 明宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	准教授	矢部 一郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	准教授	若尾 宏	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ			後任未定			平成28年12月若尾准教授退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	准教授	北村 秀光	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究	 ※１
専	講師	山崎 美和子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 公開発表演習 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	准教授	山崎 美和子	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 公開発表演習 基盤医学研究	 ※１
専	講師	泉 剛	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月泉講師退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
専	講師	及川 司	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	講師	及川 司	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究	 ※１
専	講師	小野寺 康仁	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ	専	講師	小野寺 康仁	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究	 ※１
専	講師	絹川 真太郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	講師	絹川 真太郎	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２
専	講師	近藤 健	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	講師	近藤 健	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究	 ※１ ※２

専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	医学総論	専	講師	新宮 康栄	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	医学総論	専	講師	高橋 秀尚	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	講師	高畑 雅彦	平成29年4月	医学総論	専	准教授	高畑 雅彦	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	医学総論	専	講師	谷野 美智枝	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	医学総論	専	講師	津田 真寿美	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	講師	中山 若樹	平成29年4月	医学総論	専	講師	中山 若樹	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	早川 峰司	平成29年4月	医学総論	専	講師	早川 峰司	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	医学総論	専	講師	舟山 恵美	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	医学総論	専	講師	堀之内 孝広	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学研究法Ⅱ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	医学研究法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)
専	講師	真崎 雄一	平成29年4月	医学総論	専	講師	真崎雄一	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				医学研究法Ⅱ	専	教授	吉岡 充弘	平成29年4月	医学研究法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員の変更(29)

専	講師	森川 守	平成29年4月	医学総論	専	准教授	森川 守	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	保田 晋助	平成29年4月	医学総論	専	准教授	保田 晋助	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	講師	山田 雅文	平成29年4月	医学総論	専	講師	山田 雅文	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	医学総論	専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	医学総論	専	助教	浅井 雄介	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	浅野 毅	平成29年4月	医学総論	専	助教	浅野 毅	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	医学総論	専	助教	新井 明日菜	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※3
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	有木 宏美	平成29年4月	医学総論	専	助教	有木 宏美	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	稲葉 直子	平成29年4月	医学総論	専	助教	稲葉 直子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	伊 敏	平成29年4月	医学総論	専	助教	伊 敏	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						

専	助教	岩野 弘幸	平成29年4月	医学総論	専	助教	岩野 弘幸	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	岩見 大基	平成29年4月	医学総論	専	助教	岩見 大基	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	医学総論	専	助教	鵜川 重和	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※３
				社会医学研究Ⅱ						
									社会医学研究法Ⅰ	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員として追加(29)
専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	医学総論	専	助教	内ヶ島 基政	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	内田 洋介	平成29年4月	医学総論	専	助教	内田 洋介	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	江川 潔	平成29年4月	医学総論	専	助教	江川 潔	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	榎木 亮介	平成29年4月	医学総論	専	助教	榎木 亮介	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	医学総論	専	助教	大塚 紀幸	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	大林 由英	平成29年4月	医学総論	専	助教	大林 由英	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※３
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	大平 洋	平成29年4月	医学総論	専	助教	大平 洋	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						

専	助教	大村 優	平成29年4月	医学総論	専	助教	大村 優	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	医学総論	専	助教	小野澤 真弘	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	折茂 達也	平成29年4月	医学総論	専	助教	折茂 達也	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	加納 崇裕	平成29年4月	医学総論	専	助教	加納 崇裕	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究 ※2
				臨床医学研究Ⅱ					
専	助教	川久保 和道	平成29年4月	医学総論	専	助教	川久保 和道	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	北市 雄士	平成29年4月	医学総論	専	助教	北市 雄士	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	医学総論	専	助教	GOUDARZI HOUMAN	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究 ※2
				臨床医学研究Ⅱ					
専	助教	木村 俊介	平成29年4月	医学総論	専	助教	木村 俊介	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	医学総論	専	助教	KURKIN SERGEY	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	小林 純子	平成29年4月	医学総論	専	助教	小林 純子	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	今野 幸太郎	平成29年4月	医学総論	専	助教	今野 幸太郎	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ
				公開発表演習					公開発表演習
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					
専	助教	金野 陽輔	平成29年4月	医学総論	専	助教	金野 陽輔	平成29年4月	医学総論
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究 ※1
				基盤医学研究Ⅱ					

専	助教	佐々木 成子	平成29年4月	医学総論	専	助教	佐々木 成子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※３
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	清水 健太	平成29年4月	医学総論	専	助教	清水 健太	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	志馬 寛明	平成29年4月	医学総論			後任未定			平成29年3月志馬助教退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅰ						
				研究発表技法Ⅱ						
				基盤医学研究Ⅰ						
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	杉本 智恵	平成29年4月	医学総論			後任未定			平成29年3月杉本助教退職(29) 「後任未定」 いずれの科目も担当教員が２名以上いるため，支障はない。
				研究発表技法Ⅰ						
				研究発表技法Ⅱ						
				基盤医学研究Ⅰ						
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ						
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	高橋 育子	平成29年4月	医学総論	専	助教	高橋 育子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	竹内 啓	平成29年4月	医学総論	専	助教	竹内 啓	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	武田 真人	平成29年4月	医学総論	専	助教	武田 真人	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	築山 忠維	平成29年4月	医学総論	専	助教	築山 忠維	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	津田 祥美	平成29年4月	医学総論	専	講師	津田 祥美	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH	平成29年4月	医学総論	専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	土佐 紀子	平成29年4月	医学総論	専	助教	土佐 紀子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究概論					医学研究概論	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						

専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	医学総論	専	助教	中澤 祐一	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	中村 透	平成29年4月	医学総論	専	助教	中村 透	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	西出 真也	平成29年4月	医学総論	専	助教	西出 真也	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	医学総論	専	助教	PAUDEL SARAD	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅱ					医学研究法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	橋本 あり	平成29年4月	医学総論	専	助教	橋本 あり	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	医学総論	専	助教	秦 洋郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	東 恒仁	平成29年4月	医学総論	専	助教	東 恒仁	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	平田 健司	平成29年4月	医学総論	専	助教	平田 健司	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	医学総論	専	助教	藤岡 容一朗	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	藤原 圭司	平成29年4月	医学総論	専	助教	藤原 圭司	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※2
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	医学総論	専	助教	坊垣 暁之	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	本間 理央	平成29年4月	医学総論	専	助教	本間 理央	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※1
				基盤医学研究Ⅱ						

専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	医学総論	専	助教	的場 光太郎	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				社会医学研究Ⅰ					社会医学研究	※３
				社会医学研究Ⅱ						
専	助教	三井 信幸	平成29年4月	医学総論	専	助教	三井 信幸	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	宮崎 太輔	平成29年4月	医学総論	専	助教	宮崎 太輔	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				医学研究法Ⅰ					医学研究法Ⅰ	
				公開発表演習					公開発表演習	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	医学総論	専	助教	宮武 由甲子	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	村上 壮一	平成29年4月	医学総論	専	助教	村上 壮一	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	村上 学	平成29年4月	医学総論	専	助教	村上 学	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	山野邊 貴信	平成29年4月	医学総論	専	助教	山野邊 貴信	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
									医学研究概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
専	助教	横田 卓	平成29年4月	医学総論	専	助教	横田 卓	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
				臨床医学研究Ⅰ					臨床医学研究	※２
				臨床医学研究Ⅱ						
専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	医学総論	専	助教	吉田 隆行	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
専	助教	渡部 昌	平成29年4月	医学総論	専	助教	渡部 昌	平成29年4月	医学総論	
				研究発表技法Ⅰ					研究発表技法Ⅰ	
				研究発表技法Ⅱ					研究発表技法Ⅱ	
				基盤医学研究Ⅰ					基盤医学研究	※１
				基盤医学研究Ⅱ						
					専	助教	山野邊 貴信	平成29年4月	医学研究概論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
					専	准教授	守屋 仁彦	平成29年4月	医学総論	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
									研究発表技法Ⅰ	
									研究発表技法Ⅱ	
									臨床医学研究	

					専	助教	杉野 弘和	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
					専	助教	竹谷 隆司	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
					専	助教	中川 雅夫	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 臨床医学研究	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
					専	助教	鷲尾 浩平	平成29年4月	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ	平成29年１月 教育体制の見直しにより科目担当教員として追加(29)
兼担	教授	小笠原 克彦	平成29年4月	医倫理学						
兼担	教授	久下 裕司	平成29年4月	医学研究概論						
兼担	准教授	南須原 康行	平成29年4月	臨床医学研究法Ⅱ						
兼任	非常勤講師	岸 玲子		実験・研究計画法	専	教授	玉腰 暁子	平成29年4月	実験・研究計画法	平成29年１月 教育体制の見直しにより，科目担当教員の変更(29)

（注）・　設置時の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
45 名	30 名	15 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
52	28	19	62	161	44	31	15	63	153	44	31	15	63	153
(44)	(32)	(15)	(63)	(154)						[△8]	[3]	[△4]	[1]	[△8]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
57	104	0			52	101	0			52	101	0		
(52)	(102)	(0)								[△5]	[△3]	[0]		

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
・専門職大学院の場合は，「研究指導教員」を「研究者教員」と，「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

〈博士課程〉

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	玉木 長良	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
2	教授	筒井 裕之	選択	医学総論	①	平成28年７月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
3	教授	福田 諭	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
4	教授	安田 和則	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
5	教授	櫻木 範明	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
6	教授	水上 尚典	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
7	教授	瀬谷 司	選択	医学総論	①	平成28年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
8	教授	三輪 聡一	選択	医学総論	①	平成28年９月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	

9	准教授	若尾 宏	選択	医学総論	①	平成28年12月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	社会医学研究Ⅰ	①	
			必修	社会医学研究Ⅱ	①	
10	講師	泉 剛	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
11	助教	志馬 寛明	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
12	助教	杉本 智恵	選択	医学総論	①	平成29年３月退職のため，就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	社会医学研究Ⅰ	①	
			必修	社会医学研究Ⅱ	①	

合計（Ａ）			後任補充状況の集計（Ｂ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
12 人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	北村 信人	選択	医学総論	①	平成29年4月退職のため辞任(29)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	

合計（C）				後任補充状況の集計（D）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	6	科目	計	6 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
13　人	必修	8	科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職に伴う就任辞退であるが，いずれの科目も分野・教室の助教以上の専任教員全員で担当していることから教育・研究指導に支障はない。
学生に対しては，教員の所属教室において周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設　置　時 （平成２９年４月）	該当なし			

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜大学院医学院 医学専攻（博士課程）＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	該当なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

２．医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センターにおける教育企画委員会

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（平成29年度開催予定）

２．医学教育推進センター運営委員会（平成29年度開催予定），
医学教育推進センターにおける教育企画委員会（平成29年度開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。
職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。
総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。
その他教職員等の研修に関すること。

２．医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センターにおける教育企画委員会
医学教育の研究開発・企画，立案，実施にかかること
教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること
共用試験についての実施及び管理に関すること
教員のFDについての企画及び実施に関すること
その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

ａ 実施内容

本学教職員を対象としたＦＤの実施

ｂ 実施方法

ワークショップ形式，講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたＦＤの実施

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度の実施状況は以下のとおりであり，平成29年度も継続的にＦＤを実施する予定である。

・「クリッカーの使い方入門」研修（4/22,5/26，北大：19名，北大以外：9名）
・「学習への動機付けを行う授業スキル」ワークショップ（5/13，北大：11名，北大以外：5名）
・新任教員向け研修「知って活用したい北大の諸制度」（5/20，北大：36名）
・ワークショップ「効果的なグループワークのためのファシリテーション入門」（5/27，北大：21名，北大以外：8名）
・総長室事業推進経費プロジェクトによる北大教育改革に係る研究成果発表ワークショップ（6/8，北大：37名）
・第２９回北海道大学教育ワークショップ（6/17-18，北大：21名）
・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの実践」（5-7月，期間中4回，北大：6名）
・講演会「第三期中期計画・中期目標からみる今後の国立大学の方向性」（6/22，北大：93名，北大以外：16名）
・ワークショップ「学生の思考を深め，発言を促すための問いかけと場づくり」（6/23，北大：16名，北大以外：10名）
・アカデミック・プレゼンテーション研修「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」（6/30，北大：28名，北大以外：5名）
・ルーブリック評価表作成ワークショップ（7/8，北大：18名，北大以外：13名）
・英語発音力講座（7/9,11，北大：94名，北大以外：1名）
・ワークショップ「英語でシラバスを作成する」（8/22，北大：11名）
・国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証～SA，TA，PFFなどのこれから～」（9/8，北大：43名，北大以外：13名）
・Workshop on creating rubrics（9/13，北大：8名，北大以外：1名）
・第３０回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15，北大：21名，北大以外：6名）
・講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（11/11，北大：33名，北大以外：19名）
・第３１回北海道大学教育ワークショップ（11/18-19，北大：15名，北大以外：1名）
・ワークショップ「学生の思考を深め，発言を促すための問いかけと場づくり」（12/9，北大：7名，北大以外：7名）
・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（前編）（12/12，北大：36名，北大以外：11名）
・シラバスのブラッシュアップ研修（12/17，北大：9名，北大以外：7名）
・英語によるアカデミックプレゼンテーションの基礎（後編）（12/19，北大：14名）
・研究室マネジメント研修（1/27，北大：13名，北大以外：4名）
・英語コミュニケーション研修（リスニング研修）（2/10，北大：24名，北大以外：6名）
・英語コミュニケーション研修（スピーキング研修）（2/11，北大：21名，北大以外：7名）
・講演「日本語による授業から英語による授業へ」（3/29，北大：40名，北大以外：7名）
・部局長研修会（4/25-3/9，期間中8回）

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各ＦＤ終了後にアンケートを実施し，参加者の傾向や満足度等を分析し，次回以降の同行事の改善に役立てている。

２．医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センターにおける教育企画委員会

ａ　実施内容

・初任者対象の，カリキュラムプランニングについてのワークショップ

・医学教育の国際認証基準，カリキュラム改革の必要性，新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール，診療参加型実習の具体例，学習項目や評価方法，学外実習の準備状況などについて講義

・国際基準に基づく医学教育分野別外部評価と，医学教育改革についての講義

・新カリキュラムの現状と課題についてのワークショップ

ｂ　実施方法

医学研究科，医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式，講義形式，講演会等のＦＤを実施し，受講証明書を発行した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

平成２８年１０月１２日（22名），４月２０日（74名），６月８日（49名），８月１２日（45名）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

１の全学ＦＤや専任教員の所属する教員組織におけるＦＤへの参加を強く推奨するほか，学院の自己点検評価・外部評価等を活用し，明らかになった問題点・課題について，教授会や教務委員会で検討を行い，教育改善に努める

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

１．高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

ａ　実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度，第１学期と第２学期に実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し，高等教育推進機構のホームページに公表している。
第１学期と第２学期のデータを併せて１年分の結果を教員本人と教員の所属部局長，科目責任者へ通知している。
アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて，各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい，提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

２．医学教育推進センター運営委員会，医学教育推進センターにおける教育企画委員会

ａ　実施の有無及び実施時期

各学期末（前期：7月～8月、後期：1月～2月）に実施を予定している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

修了時アンケートの実施結果については，教務委員会において，カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。
公開方法等については，今後，検討予定である。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）及び医学院の理念（世界をリードする先進的医学研究の推進，高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下，医学・生命科学・社会医学（公衆衛生学）に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材，ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成29年4月には医学専攻博士課程84名が入学したが，医学院の教育目標に基づき，国内外の大学・研究機関における国際的な研究者，医療機関における研究医，又は行政機関・企業等において保健医療行政に携わる高度専門職業人として活躍し，病態・病因の解明や新規治療法の開発による疾病の克服，ひいては社会全体の人々の健康と安全に貢献するために必要な基盤医学，臨床医学又は社会医学の領域において優れた貢献を行い，また，社会的に有意義な活動を行える高度な能力を有した人材を養成する。

今後，教育実施体制，教育内容・方法，学業の成果，進路・就職状況等の観点から，教育活動及び教育清課の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに，学外者による外部評価を受けることとする。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・未定

ｂ　公表方法

・本学院のホームページ上に公開予定（時期未定）

③　認証評価を受ける計画

・本学では，平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり，
平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成２９年　６月　１日　）

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

（趣旨）

第１条　この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成 22 年海大達第 243 号）第 30 条第３項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

（審議事項）

第２条　委員会は、次に掲げる事項について審議する。

(1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。

(2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。

(3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。

(4) その他教職員等の研修に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 高等教育研修センター長（第５条において「センター長」という。）

(2) 高等教育研修センター副センター長（第５条において「副センター長」という。）

(3) 文学部、教育学部、法学部、経済学部、文学研究科、法学研究科、教育学院、国際広報メディア・観光学院、経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから　２名

(4) 理学部、工学部、農学部、水産学部、情報科学研究科、水産科学院、環境科学院、理学院、農学院、生命科学院、工学院、総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから　２名

(5) 医学部、歯学部、薬学部、獣医学部、保健科学院、医学院、歯学院、獣医学院、医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから　２名

(6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから　若干名

(7) 総務企画部長

(8) 学務部長

(9) その他機構長が必要と認めた者

２　前項第３号から第６号まで及び第９号の委員は、機構長が委嘱する。

（任期）

第４条　前条第１項第３号から第６号まで及び第９号の委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

２　前項の委員は、再任されることができる。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

（議事）

第６条　委員会は、委員の３分の２以上の出席がなければ議事を開くことができない。

２　委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

（委員以外の者の出席）

第７条　委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（委員会の庶務）

第８条　委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

（雑則）

第９条　この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附　則

この規程は、平成 27 年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成 29 年４月１日から施行する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター内規

（趣旨）

第１条　この内規は，北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部組織運営内規第９条第２項の規定に基づき，北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

（目的）

第２条　センターは，医学研究院（以下「本研究院」という。）において医学教育に関する研究開発を行うとともに，医学院（以下「本学院」という。）及び医学部医学科（以下「本学科」という。）における教育活動について企画，立案及び調整等を行い，本研究院，本学院及び本学科の教育の推進に資することを目的とする。

（業務）

第３条　センターは，前条の目的を達成するため，次に掲げる業務を行う。

(1) 医学教育についての研究開発並びに企画，立案及び実施等に関すること
(2) 教育の評価システムについての研究開発に関すること
(3) 医学教育についての情報収集及び解析に関すること
(4) 共用試験（ＯＳＣＥ，ＣＢＴ）の実施及び管理に関すること
(5) 教員のＦＤについての企画及び実施に関すること
(6) 本学科の医学英語に関する教育の企画，立案及び実施に関すること
(7) 医学英語セミナーの企画，立案及び実施に関すること
(8) 研究成果の国際的な発信の支援に関すること
(9) その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

（部門）

第４条　センターに，次に掲げる部門を置く。

(1) 医学教育研究開発部門
(2) 医学英語教育部門

（職員等）

第５条　センターに，センター長その他必要な職員を置く。

（センター長）

第６条　センター長は，医学研究院長（以下「研究院長」という。）をもって充てる。

２　センター長は，センターの業務を掌理する。

（統括副センター長及び副センター長）

第７条　センターに，副センター長を４名置き，次に掲げる者をもって充てる。

(1) センターの教授
(2) 研究院長が指名する本研究院の教授（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第３条第２号に該当する特任教員のうち，特任教授の職にある者を含む。）　３名

２　前項第１号の副センター長を，統括副センター長とする。

３　統括副センター長は，センター長の職務を助け，センター長に事故があるときは，その職務を代理する。

４　統括副センター長は，センター長の指揮の下に，センターの業務をつかさどる。

５　第１項第２号の副センター長は，以下の職務を担当するとともに，統括副センター長を補佐する。

(1) 基礎・社会医学教育担当
(2) 内科系臨床医学教育担当
(3) 外科系臨床医学教育担当

６　第１項第２号の副センター長の任期は，２年とし，再任は妨げない。ただし，欠員となった場合の後任の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

（部門長）

第８条　医学教育研究開発部門に部門長を置き，センターの教授をもって充てる。

２　医学英語教育部門長に部門長を置き，国際連携室長をもって充てる。

（運営委員会）

第９条　センターに，センターの運営に関する重要事項を審議するため，運営委員会を置く。

２　運営委員会は，次の事項を審議する。

⑴ 教員の人事に関すること

⑵ 予算及び決算に関すること

⑶ センターの事業に関すること

⑷ センターの行事に関すること

⑸ その他センターに関する重要事項

３　運営委員会は，次に掲げる者をもって構成する。ただし，前項第１号に掲げる事項を審議する場合は，第１号から第６号までに掲げる者をもって構成する。

⑴ センター長

⑵ 統括副センター長

⑶ 副センター長⑷ 国際連携室長⑸ 医学科教務委員会委員長

⑹ 医学院教務委員会委員長

⑺ センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第３条第２号に該当する特任教員を含み，北海道大学大学院医学研究院教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第１条に定める教育助教を除く）

⑻ その他研究院長が必要と認めた者　　若干名

４　運営委員会に委員長を置き，センター長をもって充てる。５　運営委員会は，構成員の３分の２以上が出席しなければ議事を開くことができない。

６　運営委員会の議事は，出席した構成員の過半数をもって決する。

７　委員長が必要と認めたときは，運営委員会に構成員以外の者の出席を求め，説明又は意見を聴くことができる。

（事務）

第10条　運営委員会の庶務は，医学系事務部総務課において処理する。

（雑則）

第11条　この内規に定めるもののほか，センターの運営に関し必要な事項は，運営委員会の議を経て，センター長が定める。

附　則

１　この内規は，平成29年４月１日から施行する。

２　北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター内規（平成22年９月１日制定）は，廃止する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター会議について

平成２９年４月１日
医学教育推進センター長裁定

（目的）

１．北海道大学大学院医学研究院医学教育推進センター（以下「センター」という。）において企画・立案された事業，行事等（以下この項において「事業等」という。）についての具体的な実施方策を検討し，センターと大学院医学研究院，大学院医学院，医学部医学科及び北海道大学病院との連携を図りながら事業等を実施することを目的として，センター会議を置く。

（構成員）

２．センター会議は，統括副センター長を委員長とし，次に掲げる者をもつて構成する。

(1) 統括副センター長
(2) 副センター長
(3) 国際連携室長
(4) 医学科教務委員会委員長
(5) 医学院教務委員会委員長
(6) 北海道大学病院臨床研修センターの専任教員　１名
(7) センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第３条第２号に該当する特任教員を含み，北海道大学大学院医学研究科教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第１条に定める教育助教を除く）
(8) その他センター長が必要と認めた者

付　記

１　この取扱いは，平成29年４月１日から実施する。

２　北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センターおける教育企画実施委員会の設置について（平成23年５月２日医学教育推進センター長裁定）は，廃止する。